

第26回 画像センシングシンポジウム

The 26th Symposium on Sensing via Image Information
(SSII2020)

発表募集

<http://ssii.jp/>

会期：2020年6月10日(水)～12日(金)

会場：パシフィコ横浜アネックスホール

発表応募期限： 2020年 3月 2日(月)

採否決定通知： 2020年 3月 16日(月)

カメラレディ原稿提出期限：2020年 4月 23日(木)

応募原稿：A4サイズ1ページから8ページ

カメラレディ原稿：A4サイズ2ページから8ページ

『SSII新世紀 産学連創が拓くフロンティア』

【SSII2020での発表をおすすめする理由】

■100件超の研究発表×1,400名超の参加者

→ 研究成果を広く効率的に普及

→ 多数の参加者からの意見収集

研究議論・産業とのマッチングが可能！

→ 全ての発表は各賞の候補に

ごあいさつ

SSII2020実行委員長：梅田 和昇(中央大学)

第26回画像センシングシンポジウム(SSII2020)の研究発表を募集いたします。本シンポジウムは毎年発展を続け、前回SSII2019では、参加者数1,406名と2年連続で過去最高を更新しました。100件強の研究発表に対し実に10倍を優に超える参加者数を誇り、しかも産業界からの参加が7割を超えていることが、本シンポジウムの大きな特徴です。

発表者の皆様には、貴重な研究成果を広く且つ効率的に普及していただけるだけでなく、産業界・学術界からの多くの参加者に対してご自身をアピールしていただけると共に、ディスカッションを通して今後の研究の方向性をより明確にさせていただけると確信しております。

今回のテーマは「SSII新世紀 産学連創が拓くフロンティア」としました。SSII 2019で25周年の大きな節目を迎えた訳ですが、SSII2020では、新たな四半世紀の始まりにあたり、産学が力を合わせ、新たな技術の発展を目指して行こう、という思いが込められています。また、SSII2019で初めて導入されたスポンサーシップを、例えばランチオンセミナーの実施などで更に拡充していくことも計画しています。近年深刻な不足傾向にあるとされているAI関連をはじめとした分野の研究者・技術者が数多く集結する場となっていることから、「人材と出会う場」としての役割も更に強化していきたいと考えています。

皆様の研究成果ならびにご自身を更に輝かせるためにSSII2020をご活用いただけますと幸いです。そのために実行委員一同、全力で良き場を準備する所存でございます。貴重な研究成果を是非SSII2020でご発表いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

■本シンポジウムの目指すもの、発表論文の内容

本シンポジウムは、「画像センシング技術」を軸として、機械学習・パターン認識・人工知能(AI)活用技術など、さまざまな分野の方々が結集し、研究発表および議論を行う「良き場」となることを目指しております。

産業界にインパクトを与える先進的な基礎研究や挑戦的な問題提起から、今そこにある実課題への取り組みや、現場での実利用に欠かせないノウハウやエンジニアリングに関する発表まで広く募集いたします。

■インタラクティブ&ショートオーラルセッション

発表者と参加者の自由なコミュニケーションの場を提供するためのインタラクティブ&ショートオーラルセッションを募集いたします。

SSIIでは2007年以降、発表者と参加者がインタラクティブに議論することこそが、皆が集結する会議の本質であるという考えのもと、インタラクティブセッションを最も重視した運営を行って参りました。この取り組みは当時としては斬新すぎるという意見もいただきましたが、SSIIが行ってきたショートオーラルセッションとインタラクティブセッションの組み合わせは、現在では多くの会議でも見られる形式となっております。

SSII2020のインタラクティブ&ショートオーラルセッションでは、先進的な研究の発表のみならず、実利用を想定したシステムや創造的な工夫、実用化された特許など、大学・研究機関ならびに企業の方からの発表も多数お待ちしております。また、国際会議等で発表された既発表の内容を、SSIIの場で活発に議論したい、多くの方の意見を聞きたい、研究内容を広めたいという発表も歓迎いたします。

SSII2019より、従来のデモンストレーションセッションを統合し、募集を一本化いたしました。ポスターによる発表だけでなくとどまらず、ポスター前でのシステム実働の様子や技術の実感でできるリアリティあふれるデモを推奨します。

また、インタラクティブセッションでの発表に先立って、発表者の方全員にショートオーラルセッションにて口頭発表を行っていただきます。発表内容のダイジェストだけにとどまらず、思わずポスターを訪れ聞いてみたくなる、魅力的な「発表の宣伝」によって、より多くの聴衆を獲得するための場としてご活用いただけます。なお、インタラクティブ&ショートオーラルセッションはSSII学術賞およびSSIIオーディエンス賞の選考対象となります。

■応募方法・審査とカメラレディ原稿

発表応募およびカメラレディ原稿は、Webサイト(<http://ssii.jp/>)で受け付けます。発表内容をA4サイズ1ページから8ページにまとめた応募原稿をご提出ください。書式ファイルはWebサイトからダウンロードできます。

ご提出いただいた応募書類をもとに査読を行い、採否を決定します。応募要領・査読の詳細はWebサイトをご覧ください。

採録されたご発表については、A4サイズ2ページから8ページのカメラレディ原稿を提出いただけます。

※発表内容に関する情報を、投稿画面にてご記入ください。

■優秀発表の表彰

SSIIでは発表に対し、以下の表彰を行います。

(1)SSII学術賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、実用性・完成度・社会波及効果・プレゼンテーションなどのインパクトを総合評価し、優秀な技術発表を表彰いたします。

(2)SSIIオーディエンス賞

インタラクティブ&ショートオーラルセッションのご発表の中から、聴講された参加者皆様の投票をもとに優秀な発表を閉会式で表彰いたします。

(3)画像センシング技術研究会高木賞

SSIIの創始者である故高木幹雄先生のご功績にちなみ、過去のSSIIで発表された研究成果の中から実用化の観点で社会に大きく貢献したものを画像センシング技術研究会高木賞として表彰いたします。募集要項はWebサイトをご覧ください。

■SSII2020についてのお問い合わせ

【画像センシング技術研究会 事務局】

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 アドコム・メディア(株)内
Tel : 03-3367-0571 Fax : 03-3368-1519 Mail : info@ssii.jp

SSII2020では、その活動にご賛同くださり、ご支援頂けるスポンサーを広く募集しております。詳しくはWebサイト(<http://ssii.jp/>)をご覧ください。また、今年度よりスポンサー企業様と参加者の直接交流の場としてスポンサーランチオンも新設しておりますのでご検討をお願いします。なお、会場の都合上、申し込み先着順10社様となっておりますのでご注意ください。

■チュートリアル講演会

画像センシングに関する基礎理論や実用化が進む注目の技術、今話題のホットな技術について、第一線で活躍の講師陣にわかりやすく解説いただきます。

■技術動向解説セッション

国際的な研究フィールドでアクティブに活躍されている若手トップ研究者をお招きし、世界最先端の技術研究動向をまとめて一挙に解説いただきます。今まさに世界中が注目している最新技術や押さえておくべき動向を日本語で知ることができるチャンスです。

■オーガナイズドセッション

実応用から基礎まで画像センシングの新しい応用&技術革新について期待が高まるテーマを選びます。

■特別講演

画像センシング関連分野をリードする第一人者をお招きし、技術革新、そして未来へのビジョンをご講演をいただいています。SSII2020では、杉山 将氏(理化学研究所AIPセンター長 / 東京大学 教授)、古川 泰隆氏(サイモンフレーザー大学 准教授)にご講演をいただきます。ご期待ください。

■ランチワークショップ

SSII2020では、昼休憩の時間に、画像センシングをリードする企業との交流、技術の実用化に向けた実践ノウハウの共有を目的とした、事前申込制・人数限定のランチワークショップを開催いたします。詳細はWebサイト(<http://ssii.jp/>)に公開して参ります。

■参加費

全てのプログラムの聴講が可能な参加プランです。また、特に企業の皆様にご好評なグループ登録もご利用いただけます。

●一般:25,000円(30,000円) / 学生:10,000円(13,000円)

●グループ登録:50,000円(一般のみ、3名分)

※参加費は5月15日までにWebにて事前登録していただいた場合となります。

※5月16日以降のお申し込みにつきましてはカッコン内の金額となります。

※早めのお申し込み手続きをお待ちしております。

詳しくはWebサイトをご覧ください。

■展示会

1階の展示ホールでは、併設展示会 画像センシング展2020(入場無料)が開催されます。

●画像センシング展2020

お問い合わせ: アドコム・メディア(株) Tel: 03-3367-0571

<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>

■主催:画像センシング技術研究会 会長:青木 義満(慶應義塾大学)

【協賛】(予定) 映像情報メディア学会 応用物理学学会 可視化情報学会 画像電子学会 計測自動制御学会 情報処理学会 精密工学会 電気学会 電子情報通信学会 日本印刷学会 日本顔学会 日本生体医工学会 日本核医学会 日本機械学会 日本航空宇宙学会 日本材料学会 日本写真学会 日本写真測量学会 日本超音波医学会 日本バーチャルリアリティ学会 日本非破壊検査協会 日本リモートセンシング学会 日本ロボット学会 溶接学会 レーザー学会

【協力】(予定) 電子情報通信学会 バターン認識・メディア理解研究会 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 精密工学会 画像応用技術専門委員会 電気学会 非整備環境におけるセンシングとAI技術調査専門委員会

■SSII2020実行委員会

実行委員長:梅田 和昇(中央大学)

◆実行幹事:西山 正志(鳥取大学)、藤原 孝幸(北海道情報大学)、門馬 英一郎(日本大学)

◇運営委員会:大山 航(委員長:埼玉工業大学)

◆財務部:大橋 剛介(部長:静岡大学)、波部 斉(副部長:近畿大学)、小林 貴訓(顧問:埼玉大学)

◆庶務・会場部:中澤 満(部長:楽天)、亀田 裕介(副部長:東京理科大学)、肥後 智昭(キヤノン)、伊藤 康一(東北大学)、福田 悠人(埼玉大学)、山口 友之(筑波大学)、木村 大毅(IBM東京基礎研究所)、高橋 巧一(顧問:NEC)

◆広報・出版部:白井 啓一郎(部長:広報:信州大学)、望月 義彦(部長:出版:早稲田大学)、金子 直史(副部長:青山学院大学)、紋野 雄介(副部長:東京工業大学)、川西 康友(顧問:名古屋大学)

◆リエゾン部:井尻 善久(部長:オムロンサイニクエックス)、仙田 修司(副部長:NEC)、堀田 一弘(顧問:名城大学)、奥富 正敏(顧問:東京工業大学)

◇プログラム委員会:入江 豪(委員長:NTT)、山下 隆義(副委員長:中部大学)、安倍 満(副委員長:デンソーアイティラボラトリ)

◆チュートリアルセッション部:船富 卓哉(部長:奈良先端科学技術大学院大学)、島田 敬士(副部長:九州大学)、青山 秀紀(パナソニック)、石井 雅人(ソニー)、中島 悠太(大阪大学)、朴 君(NEC)、出口 大輔(顧問:名古屋大学)

◆オーガナイズドセッション部:林 昌希(部長:慶應義塾大学)、佐藤 育郎(副部長:デンソーアイティラボラトリ)、堂前 幸康(産業技術総合研究所)、大野 健太(Preferred Networks)、長谷川 昂宏(オムロン)、中村 克行(顧問:日立製作所)

◆インタラクティブ&ショートオーラルセッション部:秋月 秀一(部長:中京大学)、小山田 雄仁(副部長:鳥取大学)、片岡 裕雄(産業技術総合研究所)、山下 隆義(顧問:中部大学)

◇表彰小委員会:田中 正行(委員長:東京工業大学・産業技術総合研究所)、千葉 直樹(顧問:KPMG Ignition Tokyo)

■組織委員会

青木 義満(慶應義塾大学)、浮田 浩行(徳島大学)、内田 祐介(ディー・エヌ・エー)、梅田 和昇(中央大学)、奥富 正敏(東京工業大学)、加藤 邦人(岐阜大学)、金子 俊一(北海道大学)、久野 義徳(埼玉大学)、斎藤 英雄(慶應義塾大学)、佐藤 雄隆(産業技術総合研究所)、塩原 守人(富士通研究所)、下村 倫子(元日産自動車)、鷺見 和彦(青山学院大学)、諏訪 正樹(オムロンサイニクエックス)、田藤 雅基(パナソニック)、谷口 恭弘(本田技術研究所)、谷口 倫一郎(九州大学)、千葉 直樹(KPMG Ignition Tokyo)、寺田 賢治(徳島大学)、中島 慶人(電力中央研究所)、庭川 誠(明電舎)、野口 稔(日立ハイテクノロジーズ)、橋本 学(中京大学)、藤吉 弘亘(中部大学)、堀 修(東芝)、満倉 靖恵(慶應義塾大学)、三和田 靖彦(YYCソリューション)、山下 隆義(中部大学)、油田 信一(芝浦工業大学)、横山 敦(京セラ)

名誉顧問:中島 真人(慶應義塾大学)

顧問:奥水 大和(中京大学/YYCソリューション)

監事:油田 信一(芝浦工業大学)、横山 敦(京セラ)

第26回 画像センシングシンポジウム

The 26th Symposium on Sensing via Image Information

SSII2020

2020年6月10日(水)~12日(金)

パシフィコ横浜 アネックスホール

発表募集

Call for Papers

発表応募期限: 2020年3月2日(月)

採否決定通知: 2020年3月16日(月)

カメラレディ原稿提出期限: 2020年4月23日(木)

応募原稿: A4サイズ1ページから8ページ

カメラレディ原稿: A4サイズ2ページから8ページ



<http://ssii.jp/>